甲府市立千代田小学校　学校だより第12号

千代田

千代田小ブログ 2023　→
右記 QR コード からご覧になれます
学校だよりデジタル版 →

〒400-0082 山梨県甲府市下帯那町 3034-2　TEL　055-251-8059 FAX　055-251-8067 E-mail：chiyoda-e@kofu-ymn.ed.jp
令和６年（2024 年）３月２５日　　発行責任者　校長　篠原利明

春風や闘志いだきて丘に立つ

３月は別れの時，そして新たな出発に向かう時でもあります。そんなとき心の中に思い起こさせる俳句が「春風や闘志いだきて丘にたつ」という高浜虚子の俳句です。この句は，いわば決意表明なのです。自ら目標を立て，それに立ち向かうとき表情は自然と険しくなります。逆境に凛として立つ青年の姿を思い浮かべますし，よりみなぎる闘志が感じられ，つい応援したくなります。春風は逆境をイメージしているのです。逆境に対し負けないぞという『闘志』が強く感じられます。多くの若者が新たなステージに向かって覚悟を決めていくこの３月，この３月の準備が４月からのスタートにとても大切であることはいうまでもありません。千代田小学校の全校児童もこの３月，一人一人が主役となり，自分の目標に向かって最後まで全力で取り組み，力をつけました。いよいよ卒業，進級の時期を迎えます。教職員も子供たちの気持ちにしっかりと寄り添い，子供たちが自信をもって新たな舞台に向かっていけるようにしていきます。

感動の卒業証書授与式

令和５年度千代田小学校卒業証書授与式が多くの来賓の皆様のご臨席や保護者の皆様の見守る中，盛大に挙行されました。卒業生は在校生の祝福の中で，６年間学んだ校舎を巣立っていきました。

証書授与では，担任の呼名に大きな声で応え，ゆっくり落ち着いて一つ一つの動作に集中して壇上に上りました。そして，校長が卒業証書を読み上げている間は，まっすぐにこちらを見ています。その真剣な表情にこちらも身の引き締まる思いがしました。証書を渡すと，大きな声で「ありがとうございました」と言って受け取り，保護者席に行って，卒業証書を親に感謝の思いをもちながら，そっと渡しました。

「別れの言葉」では，卒業生が６年間の思い出やお世話になった方々への感謝，そしてこれからの夢や希望について語った後，在校生が卒業生への感謝のメッセージを一言一言の言葉に気持ちを込めて表現しました。最後には「合唱曲：Tomorrow」を大きく口を開けて心を込めて歌いました。大きな声ではっきりと発声し，千代田小学校で培った合唱やスピーチの集大成として，卒業生と在校生が力を合わせて立派に最後の授業をやり遂げました。卒業生に感謝の心がこもった，厳かでありながらもとてもあたたかな雰囲気の卒業式になりました。

最後に卒業生は，担任の先生に導かれながら，大きな拍手の中，一人一人ゆっくりと体育館の出口に向かって歩き，こちらを振り向いて大きくお礼をして巣立っていきました。卒業生が，これから始まる中学校で夢や希望に向かって力強く前に進んでいく姿をいつまでも応援しています。

校長より卒業生に贈る言葉～抜粋～

小学校六年間の課程を修了し，本日，千代小学校を巣立ちゆく三名の卒業生の皆さん，ご卒業おめでとうございます。たった今，一人一人に手渡した卒業証書は，六年間学んだその努力を，讃えるためのものであり，成長してきた足跡が込められた，証でもあります。

皆さんは，平成30年4月に小学校に入学してから，この6年間で，身体も心も大きく成長しました。何回も繰り返し練習した掛け算九九，一輪車，一分間スピーチ，休み時間に上級生・下級生関係なく学年を超えてみんなで遊んだこと，千代田小らしさを存分に感じての毎日だったことでしょう。

特に，最高学年としてのこの一年間は，千代田小のリーダーとして，下級生のお手本となって様々な場面で頑張ってきました。ふりかってみますと，児童会活動では，「やさしさと元気いっぱい千代田っ子」をスローガンに掲げ，みんながいつも明るく笑顔になる学校を目指し，仲良し・元気・やさしさの3つのプロジェクトを進めてきました。ふれあい仲良しデーを企画し，みんなといろいろな運動遊びを楽しく取り組んだこと，感謝の気持ちを伝えようと，ありがとうボックスを設置し，ありがとうの木の掲示を行ながら，ありがとうの気持ちと伝えあったこと，ドリームフェスタでは楽しいゲームの企画と運営のためにリーダーシップを発揮しました。どれも素晴らしい活動でした。修学旅行では，東京・鎌倉に行きました。鎌倉自主散策では，自分の力で計画を立てやり遂げました。自分が決めたルートを自分の目でよく見て，よく考え，力強く前へ進んでいくみなさんの姿を見て，この１年間千代田小学校のリーダーとして活躍する姿をイメージできました。千代田オリンピックは初めて千代田地区運動会との午前実施の共同開催となりました。運動会に向けての体育学習では，チームのリーダーとして，下級生に声をかけながら頑張りました。中でも，全校表現運動では，みんなで動きを考え，ダンスをしたり，パラバルーンや伝統の一輪車をつかって華やかな雰囲気を作ったりして，観客の皆様から盛大な拍手を頂きました。みんなで心を一つにして頑張れば，大きなことを成し遂げられるということを実感したのではないでしょうか。このように大きなイベントを成功することができたのも，人数の少ない千代田小学校の一人一人が主役だという気持ちで毎日を積み重ねてきたからです。

さて，希望に満ちて中学校へと進む皆さんに，卒業にあたり，最後に校長先生から宿題を出します。「夢をつかもう大作戦」と言いかえてもいいかもしれません。これからお話をしますので，心の中にある連絡帳にしっかりと書き留めておいてください。
宿題 「やればできる」と自分を信じて小さな努力を積み重ねること
持ち物 「失敗を怖れない勇気と度胸」
ふつう宿題には提出期限がありますが，この「小さな努力を積み重ねる」という宿題には提出期限はありません。「夢をつかもう大作戦」はみなさんの一生の宿題です。
今年全国の子供たちにグローブをプレゼントしてくれた大谷選手も皆さんと同じ子供時代がありました。大谷選手は高校一年生の時に目標達成シートをつくりました。シートの真ん中に「ドラフト一位で8球団に指名されてプロ野球選手になる」という最終目標を示し，目標達成のために大切なことをその周りに示して，夢を叶えるために必要なことを積み重ねてきました。大谷選手でもうまくできなかったこともたくさんあると思います。いや上手くいかないことの方が多かったはずです。「失敗や大きな壁にぶち当たり，挫折を経験することは誰にでもあります。それでも「やればできる」と自分の力を信じて，最後まであきらめずに，小さな努力を積み重ねた人が最後には成功するのです。大谷選手のように，あきらめなければ，いつか必ずきっと夢は叶います。しかし，人生は難しいものです。みなさんも大谷選手と同じように失敗や上手くいかないことの方が多いかもしれません。自信をなくしてしまうときもあるでしょう。そんな時でも，失敗をしたら，次はどうすればいいのか，いつも前向きに考え，自分の成長につなげていく人になってください。勇気をもって前に進んでいってほしいと思います。
そのために大切なことは学び続けることです。みなさんの輝かしい未来のために，中学校で大いに学び，大いに体を鍛え，心を豊かにしてください。それぞれの得意なところをいかして，目の前にある学びや活動に対して努力し続けていくことが夢をつかみ，幸せな人生につながっていくのではないでしょうか。卒業生の皆さん，皆さんの目の前には，可能性という果てしない未来が広がっています。さあ，力強く歩き出してください。勇気をもって，自分自身の可能性を信じて，挑戦してください。
保護者の皆様，お子様のご卒業，誠におめでとうございます。卒業証書を手にする姿に，感慨もひとしおのことと思います。これからは中学校という新しいステージに移ります。いろいろな試練もあるかもしれませんが，子供たちが「夢」に向かう姿をどうぞあたたかく見守ってあげてください。家族のあたたかい支えが子供たちの成長には欠かせない大きな力となります。私たちも，子供たちの成長と成功を願いながら，いつまでも応援し続けていきます。
結びになりましたが，ご臨席を賜りました，ご来賓の皆様，子供たちの門出を祝っていただき，ありがとうございます。今後とも，本校教育の充実・振興に，お力添えをくださいますことをお願い申し上げるとともに，卒業生がいつも豊かな夢を描き続け，前に進んでいくことを願いながら，卒業生に贈ることばといたします。
令和6年3月21日　　甲府市立千代田小学校　校長 篠原利明

中道南小学校とオンライン交流授業

中道南小学校とのオンライン合同授業を行いました。教科は外国語です。中道南小の５年生１５名と千代田小の５・６年生４名を Googlemeet でつなぎ，まるで同じ教室で一緒に授業を受けているような気持ちになりました。まずは自己紹介です。「I’m ○○.My birthday is ○○.I like ○○.･･･」と全員が英語で紹介をしました。そのあとは，「This is Chiyoda Elementary School.･･･」と写真を見せながら、お互いの学校や地域の良さを英語で紹介し、質問をし合いました。他校との交流ができ、子供たちからは「またやってみたい。」という声が上がりました。
とても感心したことがあります。人数の少ない本校の子供たちが，英語を使って，恥ずかしがらず，大きな声で堂々と紹介をすることができていたことです。日々の学びでの発表する機会が数多くあることや一分間スピーチの経験などによって，人の前でも子供たちが臆することなく，自分を表現する力を高めることにつながっているのだと思います。今後も本校の少人数の強みを生かしながら，さらに子供たちが主体的に学んでいく力を高めていきます。本校にとって他校の児童と交流ができる機会は貴重ですので，このような交流学習も積極的に進めていきます。

令和5年度修了式（3月25日）

令和５年度も最後の日を迎えました。教職員，子供たちがいつも心を一つにして、日々の学びを積み重ねてきました。修了式では児童一人一人に修了証書を手渡しました。修了証書を手渡すと全員が大きな声で「ありがとうございました」言って受け取りました。みんなとてもいい表情をしていました。修了式では次のような話をしました。

修了式 校長より子供たちへの話～抜粋～

全校児童を優しくたくましくリードしてくれた6年生がいないと何か寂しいですね。それだけ，6年生はみんなにとって，そして千代田小学校にとって頼りになるすごい6年生だったと思います。
21日の卒業式は，全校でつくりあげたすばらしい卒業式でした。みんなの心がこもった千代田小学校ならではすてきな卒業式ができたことを誇りに思いますし，全校の先生方がとってもがんばったみなさんのことをまた大好きになりました。卒業式の主人公である6年生は，それぞれの卒業をむかえた今の思いを一言一言丁寧に話していましたね。いつも何事にも全力で集中して頑張っていた6年生をこれからも良いお手本にしてほしいと思います。そしてその 6 年生をこえるぐらい頑張ろうとそうすればきっとよりよく成長できると思いました。
一番，感動したのは，みなさん一人一人の台詞です。完璧でした。でも，一番すごいと思ったのは何でしょう。それは在校生の台詞の番になるまで，卒業生を見つめじっと静かに背筋を伸ばしてお話を聞いていた姿です。号令に合わせて在校生全員がすっと静かに立った瞬間の表情は，「よし，やってやるぞ!」という気迫がつたわってきました。その姿もとても立派でしたよ。
校長先生が見ていて･･･，皆さんが今年，一番成長したのは，みんなと力を合わせる，友達･仲間のことを考えるようになっていることです。それは，休み時間の遊びも給食もいつも一緒でしたね。全校で授業をしたり，掃除をしたり，歌ったり，運動したり，たくさんのことを一緒にして，同じ楽しさや難しさを感じてきました。困っている人には手を貸せる，やさしい声をかけてあげられる･･･これが千代田小の子供たちのすばらしさです。教室からは明るい笑顔がいつも見られ，笑い声や歌声が響いていましたね。あいさつも会うたびにしてくれて，いつも元気をもらいました。これからもお世話になっている，地域の皆様や先生方にこの元気なあいさつと笑顔を届け，周りにいる人を明るくできるような太陽のような人になってください。
次に学習です。皆さんの「通信表」を見せていただきました。一学期よりも二学期よりも成績がすごく伸びてきた人がたくさんいました。これからも一時間一時間の学びを大切にする気持ちをいつももって，先生に教えてもらうのではなく，みなさんが考えを出し合ってみなさんが授業を作っていってほしいです。何事もこつこつと最後まであきらめず，粘り強くがんばり抜いた人が最後は成功をします。毎日の授業での学びを大切にしてください。
卒業証書ではないけれど，皆さんには「この一年間，よく頑張ってそれぞれの学年を無事終えて進級できます」という校長先生のはんこを押した修了証書を渡しました。皆さん，おめでとうございます。今日は皆さんを支えてくれた家の人に「おかげさまで一年無事終えることができました。ありがとうございました」の感謝の気持ちを伝えてください。そして一番お世話になった担任の先生，大切な大切な千代田小の仲間にも「一年間ありがとうございました」と心からお礼を言ってください。それでは一年間よく頑張りました。何事も全力で頑張るみなさんから先生たちは，たくさんの感動をもらいました。「本当にありがとうございました。」次の学年でもみんなで一緒に成長できるようがんばっていきましょう!最後になりましたが，みなさんがこれからもずっとずっと元気で心あわせて前に進んでいくことを祈りながら，修了式での校長先生のお話しとします。

学校教育にご理解とご協力いただきました保護者の皆様，地域の皆様方には心から感謝申し上げます。来年度は，教職員の入れ替えもありますが，引き続き千代田小教育の充実と更なる発展のために共に前に進んでいきましょう。学校だより「千代田」を一年間お読みいただきありがとうございました。